

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第 1,786 号	氏名	浦田 秀子
論文審査担当者		主査教授	青柳 潔
		副査教授	上平 憲
		副査教授	松山 俊文
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、B型肝炎感染対策としてB型肝炎母子感染防止対策前後に出生し、その後看護学生となった者のHBs抗原、HBs抗体陽性率の推移を解析し、さらにHBs抗原、HBs抗体陰性の看護学生に対し実施されたワクチン接種を評価、検討しており、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>抗原・抗体陽性率については、対象を対策前（Ⅰ期）、一部対策時（Ⅱ期）、完全対策後（Ⅲ期）の出生に分けて分析し、また、ワクチン接種の評価については獲得率、抗体価などを種々の統計学的解析法を用い解析しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、HBs抗原陽性率は対策開始後に出生した年代で減少し対策の効果が示唆された。また、HBs抗原、HBs抗体とも陰性だった者に対しHBワクチンを接種したところ98.2%が抗体を獲得した。1シリーズのワクチン接種で抗体を獲得しなかった者に、追加接種を行い全体で99.4%の者が抗体を獲得した。感染事故は経験の未熟な新人看護師に多いことから学生時にHBs抗体獲得していることが望ましいと考察し、今後の肝炎防止対策および予防教育への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はウイルス性肝炎感染防止研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			